

承認番号	2019-074
研究課題名	急性腎障害（AKI）を合併する微小変化型ネフローゼ症候群（MCNS）の臨床学的・組織学的特徴の検討 -既存試料を用いた横断研究-
研究の意義・目的	微小変化型ネフローゼ症候群では、急激な腎機能の悪化（急性腎障害）が高頻度で起こる（合併する）ことが知られています。。急性腎障害の合併は、腎機能の悪化・高い死亡率と関係があり、急性腎障害は合併しないことが望ましいとされています。私たちはこれまでの臨床経験から、「高齢であること」・「治療開始までの期間が長いこと」・「腎組織の障害が重度であること」と急性腎障害の合併には関係があるのではないかと感じております。どのような微小変化型ネフローゼ症候群の方で急性腎障害が合併しやすいかを検討することは、将来の微小変化型ネフローゼ症候群の方の治療の一助となる可能性が高く、今回は、大阪市立大学医学附属病院で腎生検を受けられ、微小変化型ネフローゼ症候群と診断された方にご協力を頂きたいと考えました。
研究を行う期間	2020年2月10日～2024年12月31日まで
研究対象者の範囲	2007年1月1日 ～ 2018年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院の腎臓内科にネフローゼ症候群の精査・加療目的で入院され、腎生検にて微小変化型ネフローゼ症候群の診断された方が対象です。
お願いする内容	本研究は大阪市立大学医学部附属病院腎臓内科のみで研究いたします。 ①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重（健常時の体重からの増加）、血圧、既往歴、内服薬、注射薬、喫煙歴、飲酒状況 ②腎生検時の血液検査：血算、eGFR、Cr、BUN、TP、Alb、UA、TG、TC、LDL-C、 ③腎生検時の尿検査（随時尿）：蛋白、Cr、Na、K、Cl、Ca、P、NAG、β2-MG ④治療内容（免疫抑制薬使用の有無とその種類・血液透析の有無） ⑤合併症：急性腎障害の合併の有無を 以上を診療録より調べます。 ⑥腎生検組織：保存している病理組織を再検討いたします。
頂いた試料・情報の管理について責任者	所属：大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 職名：講師 氏名：仲谷 慎也
この研究を行っている施設	所属：大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 職名：講師 氏名：仲谷 慎也
代表施設のURL	<a href="http://www.med.osaka-cu.ac.jp/interm2/">http://www.med.osaka-cu.ac.jp/interm2/</a>
研究の成果を公表する方法	研究の成果は日本腎臓学会・アメリカ腎臓学会などの腎臓関連の学会および学術誌に公表する予定としております。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。 研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	お問い合わせ先：大阪市立大学医学部附属病院腎臓内科 担当者：仲谷 慎也 連絡先：06-6645-2312